

首都直下地震対策検討ワーキンググループについて

1. ワーキンググループ設置の趣旨

首都直下地震について、最新の科学的知見に基づいて相模トラフで発生する規模の大きな地震も対象地震として、東日本大震災の教訓を踏まえた、首都直下地震対策について検討するため、中央防災会議「防災対策推進検討会議」の下に設置することを3月7日に決定

2. 主な検討課題

- 科学的知見に基づく、首都直下地震の地震像（震度分布・津波高）
（→「首都直下地震モデル検討会」を設置し、技術的な検討を支援）
- 首都直下地震による定量的な被害想定、定性的な被害シナリオ
- 首都中枢機能のバックアップのあり方を含めた中枢機能継続性確保対策
（→「首都直下地震対策局長級会議」における検討も反映）
- 首都直下地震に対する予防、応急、復旧・復興の各対策の方向性 等

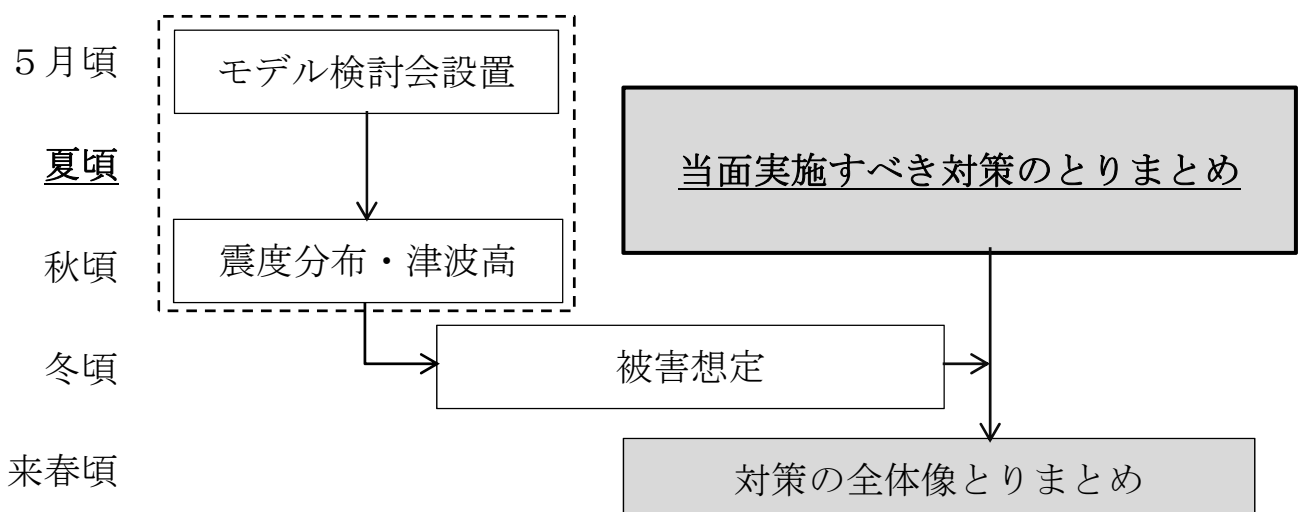
3. 検討体制

ワーキンググループは、理学、工学、社会科学等の専門家の他、経済界、地域防災の担い手、自治体の長など、幅広い有識者にて構成（主査：増田寛也（株）野村総合研究所顧問）。

検討に当たっては、地方公共団体等の意見が反映できる仕組みにも留意。

地震像は、科学的・技術的検討が求められるため、内閣府に「首都直下地震モデル検討会」を設置（地震学等の専門家から構成）し、その検討成果をワーキンググループに報告し、ワーキンググループの検討を支援。

4. 検討スケジュール



中央防災会議における地震対策の検討会議の構成

平成24年3月7日第6回中央防災会議
「防災対策推進検討会議」設置決定

防災対策推進検討会議（継続）

南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ （今回新たに設置）

南海トラフの巨大地震モデル検討会（継続）

南海トラフの巨大地震の津波浸水域、
時間差発生、長周期地震動に係る科学的・
技術的検討を行い、ワーキンググ
ループに報告

首都直下地震対策検討ワーキンググループ （今回新たに設置）

首都直下地震モデル検討会（新規設置）

首都直下の地震像について、科学的・
技術的検討を行い、ワーキンググ
ループに報告

津波避難対策検討ワーキンググループ （名称の変更）

「災害時の避難に関する専門調査会」から移管

中央防災会議のワーキンググループ

内閣府に設置の検討会